

## 物価高騰対策として新たな給付金を支給

- ①調整給付金  
定額減税額が所得税額・個人住民税所得割額を上回る場合の方へ、差額分を調整給付金として支給します。
- 支給額  
差額分を1万円未満切り上げた額
- 対象者  
定額減税額が所得税額または個人住民税所得割額どちらか一方を上回った方
- ②低所得世帯物価高騰緊急支援給付金  
令和6年度新たに非課税または均等割課税のみの世帯へ給付金を支給します。
- 住民税非課税世帯  
●支給額  
1世帯あたり10万円
- 対象世帯  
令和6年度新たに非課税となった世帯
- 住民税均等割のみ課税世帯  
●支給額  
1世帯あたり10万円
- 対象世帯  
令和6年度新たに均等割のみ課税となった世帯
- ③子どもがいる世帯への加算  
②の給付金の対象となる世帯で、次の条件にあてはまる世帯
- 【A】18歳以下の児童がいる世帯  
※加算対象児童(平成18年4月2日〜令和6年6月3日生まれ)
- 【B】18歳以下の児童と別世帯だが生計が同一の場合
- 【C】令和6年6月4日〜令和6年10月31日に出生した新生児を含む世帯
- 申請方法  
対象となる方には8月中旬に「確認書」を送付しています。「確認書」の返送をお願いします。  
※③のBとCに該当する場合は、ご連絡ください。  
※②の給付金は、令和5年度の非課税または均等割課税のみの世帯の給付金対象となっている場合は対象となりません。
- 申請期限  
令和6年10月31日
- 問合せ 住民課  
76・2213



①の情報



②③の情報

## 広く社会に役立つ宝くじ

地域活動の活性化のため、宝くじ社会貢献広報事業の助成を受け、北野下自治会が、地域の活動拠点、指定避難所として、快適な空間と利便性を確保するため、北野下会館にエアコンや椅子を整備しました。

この事業は、(一財)自治総合センターが、地域のコミュニティ活動の充実・強化と地域社会の健全な発展、住民福祉の向上のため、宝くじの受託事業収入を財源として実施する事業です。

なお、次年度の募集は、改めてホームページ等で周知します。



今後の自治振興にご活用ください

## サウンドアーチ(電話音声明瞭機)の寄贈

明治安田生命相互保険会社からサウンドアーチ(※)を寄贈していただきました。高齢者など聞きとりに悩みを抱えている人は、電話の利用を敬遠される傾向にあり、社会的に孤立することが懸念されています。

同社では、こうした社会問題の解決に貢献する取組で、連携協定を締結している全国の自治体に寄贈。本町も連携協定を締結していることから、地域包括支援センターにサウンドアーチ1台を寄贈いただきました。

※電話での声を、自然なまま明瞭に聴こえる音声に変換



保健福祉課で使用しています

## 飯南担い手協議会 設立総会

7月27日(土)

本町の農業振興において、深刻な課題となっている担い手不足を解消するため、「赤来担い手連絡協議会」と「頓原集落営農組織連絡協議会」が合併され、「飯南担い手協議会」が設立されました。

7月27日には、設立総会が開催され町長も出席。事業計画の承認や松田栄次会長など役員を選出されました。

今後、同協議会は、営農技術や経営ノウハウ等の情報交流を図り、担い手組織等の事業や運営を活性化されます。町として、今後も必要に応じ支援していきます。



来賓の丸山知事など出席者で記念撮影

## 地域おこし協力隊が 退任

7月31日(水)

7月31日付で、地域おこし協力隊の松尾由貴さんが3年間の任期満了で退任されました。松尾さんは「(一社)ファームアシスト飯南」や「飯南町農林産物直売所ぼたんの郷」を担当し、令和3年8月1日に着任して以来、農業の振興等に尽力されました。

退任にあたり、「3年間ありがとうございました。退任後も飯南町に残りますので、今後ともよろしく願います」と話されました。



3年間お疲れさまでした

## ALT(外国語指導助手)の ジョーダンさんが退任、新たにダニエルさんが着任

8月1日(木)

ALTとして活動していたジョーダン・グラベルさんが任期満了で退任されました。ジョーダンさんは5年間頓原中学校を中心に活動し、中学生の英語の授業等を行いました。今後はアメリカに帰国されます。

新たに2学期からダニエル・ドーンソンさんが着任しました。ダニエルさんはアメリカのテキサス州出身。主に頓原中学校を中心に活動し、日本文化を学びながら、生の英語や文化を小中学校の子どもたちに伝えています。



ダニエルさん(左から2人目)とジョーダンさん(中央)

## まちづくり講演会 アコメヤ利きの会

8月3日(土)

来島交流センターで、(株)AKOMEYA TOKYO(以下、アコメヤ)から3人の講師を招き、まちづくり講演会を開催しました。

当日は、アコメヤと本町との関わりや、商品を企画開発する際に重視する視点など、民間企業のノウハウやスキルを学べる講演をされました。

会の後半には、利きの会と称し、飯南町産米と全国の米の3種類を食べ比べ。飯南米の魅力を再認識するとともに、今後も飯南米の普及に努め、取組を進めていきます。



白米食べ比べやごはんのお供との食べ合わせを楽しみました